



市制50周年に向けて 新しい清瀬市史を編さんします

現在の清瀬市史は、昭和48年に刊行されて以来、40年もの歳月が経過していることから、内容的な再検証はもろろんのこと、刊行以降の歴史を追記していく必要性が生じてきました。

そこで市では、4月に企画部内に市史編さん室を設置し、新たな市史の編さん事業に取り組んでいくこととしました。

今回は、清瀬市史編さんの概要と、清瀬市の歴史について特集します。気持ち新たに迎える新年こそ、私たちのまち、清瀬の歴史に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

問合せ 市史編さん室 ☎497・1813

市史編さんの意義と歴史を知ることの大切さ

近年、歴史小説、テレビやゲームなどの影響により、歴史好きな「歴史女(れきじょ)」と呼ばれる女性が出現するなど、歴史が大きなブームとなっています。このように歴史に関心を持つことは、私たちが生きていく上で非常に意義深いことです。

なぜならば、現代社会は、これまで先人たちが築きあげてきた尊い遺産の上に成り立っているからです。そして、その歴史を振り返ることは、現在を違った視点で捉えることができ、山積する諸課題を解決する糸口の発見や、将来を見通すための助けになると考えられるからです。

市では、平成32年の市制施行50周年に向けて、市民の皆さんが、清瀬に対する理解や愛着を深め、



昭和30年頃の清瀬駅(写真上)と現在の清瀬駅

郷土清瀬への誇りをより一層育んでいけるよう、新たな清瀬市史の編さんに取り組んでいきます。この機会にぜひ皆さんも、地域の尊

い歴史を振り返ってみてはいかがでしょうか。きっと、清瀬のことがもっと好きになり、誇りを持てるようになるはずです。



現在の清瀬市史

市史編さん室の取り組み

新たな市史を編さんするためには、現在の清瀬市史を編さんする際に活用した資料やその後の調査研究の成果を活用する他、取材や市内の資料探索などにより、必要となる資料の掘り起こしや蓄積を行っていかねばなりません。

そのためには、まず市民の皆さんに市史編さん事業の意義をご理解いただき、関心を持っていただくことが重要ですので、市報やホームページなどを活用した積極的な情報発信を行っていきたくと考えています。

このような考え方に基づき、市史編さん室では、これまで市ホームページでブログ「市史で候」や市のフェイスブックにより、清瀬市にまつわる歴史や伝統芸能などの紹介を行ってきました。

また、清瀬の方言をあしらった

新たな市史を編さんするにあたって、必要となる調査、基本方針の検討や事業の監修などを担う「清瀬市史編さん委員会」が組織され、11月17日に第1回会議を開催しました。

この委員会は、学識経験を有する委員・関連団体委員・公募委員・副市長が委員となり、計13人で組織され、まずは、市史編さんの基本方針について協議し、3月までにまとめる予定です。

市ホームページで公開しているブログ「市史で候」

市史編さん室では、市民の皆さんが、清瀬の歴史や文化について学び、愛着を深めるきっかけとなるよう、市ホームページで「市史で候」ブログを公開しています。このブログでは、清瀬の歴史や文化について、市民の皆さんから寄せられた質問や、市史編さん室の活動について、随時更新していきます。



市史編さん室で作成した「清瀬の方言うちわ」(写真左)と「しし(市史)しおり」。いずれも市ホームページからダウンロードできる(各施設での配布は終了)

衆議院議員選挙の結果

12月14日に行われた選挙結果は次の通りです。
選挙当日の有権者数
男 2万8千897人・女 3万1千506人・合計 6万403人(在外含む)
◆投票者数と投票率
◆小選挙区 男 1万6千555人(57・29%)・女 1万7千496人(55・53%)・合計 3万4千51人(56・37%)
◆比例代表 男 1万6千555人(57・29%)・女 1万7千496人(55・53%)・合計 3万4千51人(56・37%)
※各候補者得票数(清瀬市分)は左表のとおり。
問合せ 選挙管理委員会 ☎497・2561

候補者	得票数
木原 誠二	16,250票
池田 真理子	8,566票
竹田 光明	8,034票

衆議院議員比例代表	政党名等	得票数
自由民主党	9,407票	
日本共産党	6,929票	
民主党	5,833票	
公明党	4,383票	
維新の党	3,991票	
次世代の党	948票	
生活の党	860票	
社会民主党	829票	
幸福実現党	120票	
新党改革	95票	

清瀬市史編さん委員会が発足

市史編さん事業を進めていくにあたって、必要となる調査、基本方針の検討や事業の監修などを担う「清瀬市史編さん委員会」が組織され、11月17日に第1回会議を開催しました。



11月17日に行われた清瀬市史編さん委員会第1回会議

この委員会は、学識経験を有する委員・関連団体委員・公募委員・副市長が委員となり、計13人で組織され、まずは、市史編さんの基本方針について協議し、3月までにまとめる予定です。

氏がそれぞれ選出されました。会議では、地元ならではの情報収集のあり方、現在の清瀬市史の内容や今後の事業PRの方法などについて議論が交わされました。

編さん委員会委員名簿

分野	氏名	所属
学識経験者	浅倉 直美	駒澤大学講師
	黒川 徳男	國學院大学兼任講師・北区立中央図書館「北区の部屋」地域資料専門員
	谷口 康浩	國學院大学教授
	田村 均	埼玉大学教授
	◎根岸 茂夫	國學院大学教授
団体代表など	○栗山 究	清瀬市文化財保護審議会
	齊藤 隆雄	清瀬市郷土博物館協議会
	齊藤 靖夫	清瀬郷土研究会
	坂間 和英	清瀬市郷土博物館友の会
公募	岡田 耕輔	
	黒田 一美	清瀬市民
	小西 一午	
市	中澤 弘行	清瀬市副市長

◎は委員長・○は副委員長